

(4) ②様式第4号-2 (報告書)

※文字のフォント、大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

NITS・教職大学院等	実施機関名・連携機関名 常葉大学大学院初等教育高度実践研究科
コラボ研修プログラム	テーマ： 語り合おうよ、学校と地域のこれから
支援事業報告書	研修等名：【NITS・常葉大学教職大学院コラボ研修】 学校と地域の「よこのつながり」を考える
	開催日時：令和3年12月20日 午後2時～4時30分 開催場所：常葉大学静岡草薙キャンパス 常葉大学センター 静岡県静岡市駿河区弥生町 6-1 参加人数：教育委員会関係(11)、一般参加教員(20)、静岡市の統括的な地域学校 協働活動推進員(13)、教職大学院生(18)その他(2) 計 64 名

内容： ※全体発表の内容をテーブル起こしするなど、具体的に記載してください。研修等の様子は、写真を右に貼り付けてください。

基調講演として、大阪市立大空小学校初代校長である木村 泰子氏による、「地域の学校をすべての子どもの安全基地に」と題した講演を行った。映画「みんなの学校」を通しての、すべての子どもが安心して学べるための経営理念、「地域の子どもは地域で育てる」具体的な実践、そして映画に登場する様々な障害や困難を抱えた子どもたちの成長等の話から、参加者一人ひとりが大人としてどう子どもたちと向き合わなければならないのかを自分事として考えることができた。感想からも「地域連携の本質的な意味に気づくことができた」「子どもを主語にして教育を問い直すことの大切さを痛感した」「学校を変えていくために自分は何ができるのだろうと心を揺さぶられた」等、感動とともに多くの示唆を得たことがわかる。事前研修として「みんなの学校」を見ていない方を対象とした上映会も実施したため、より理解を深められた。

グループワークは、教育委員会関係、一般参加の教員、静岡市の統括的な地域学校協働活動推進員、教職大学院生混合のグループ編制をし、それぞれ異なる立場での交流と意見交換が好評だった。基調講演の感想を出し合った後、「地域の子どもは地域で育てるとは」をテーマに話し合いを深めていった。ファシリテーターは教職大学院生が行い、日頃の大学院での学修でも活用している「円た君」という円形のホワイトボードで意見を整理していった。講師の木村先生にも各グループの協議に参加していただき質問等にも答えていただくことができた。最後にまとめとしてグループ代表の発表を行い、木村先生からのまとめとご講評をいただいた。

休憩を挟んで全体で 2 時間半の計画だったが、事後アンケートからは、講演もグループワークも時間が足りなかったという意見が多く、参加者の意欲的な取組と内容の充実ぶりが伺えた。

成果： ※参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。

【事後アンケート結果】

- 1 本研修全体を通して、この研修は有意義でしたか：とても有意義（79.2%） 概ね有意義（20.8%）
- 2 講演会の内容について：大変よかった（87.5%）、概ねよかった（12.5%）
- 3 グループワークの内容について：大変よかった（50%）、概ねよかった（50%）

<自由記述より>「地域とのつながりについて、これまでと意識がかなり変わった」「大空小学校が特別なのではなく、本当にみんなで創り上げることができる学校だと実感できた」「学校と地域がお互いに WinWin の関係になるようにしたい」「もっと多くの先生方に聞いてほしい内容だった」「発達障害等に対する偏見をなくしたい」「親としてわが子への接し方も痛いほど考え直すきっかけとなった」「大学院生の積極的な姿が逞しく思えた」

アイデアや工夫したこと： ※3～5 つ程度の箇条書きしてください。

- ①地域との連携・協働をテーマとしたので、直接、学校と地域との橋渡し役をしている静岡市の統括的な地域学校協働活動推進員というコーディネーターの方々とのコラボ研修を計画したこと。
- ②テーマに最も相応しい講師である木村泰子氏を招聘でき「みんなの学校」の事前研修上映会を実施したこと。
- ③新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言で 9 月から 12 月に延期されたが、諦めずに実施できたこと。

<写真・図など> ※会場の熱気や規模がわかる写真、参加者の表情がわかる写真（寄って撮影またはトリミング）を撮影してください。

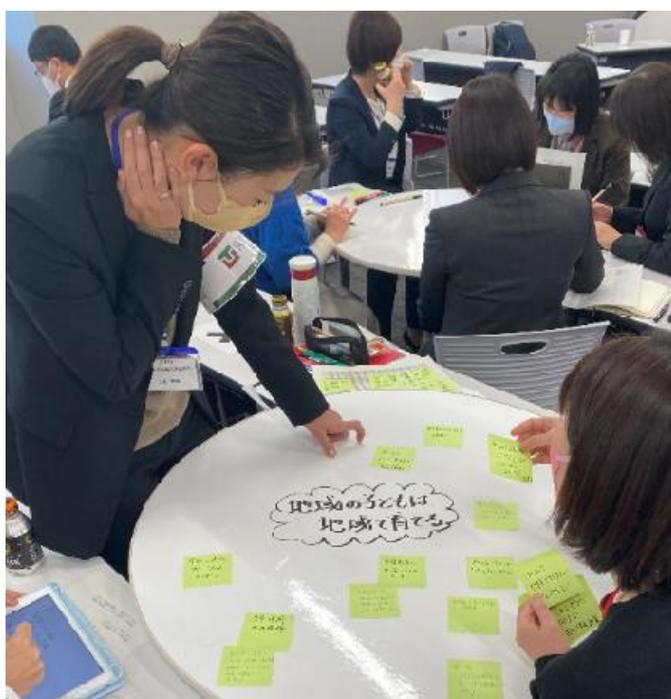


← 基調講演の様子

参加者は熱心にメモをとる様子がわかります。
講師も予定時間より 20 分も超過して講話してくださいました。

グループワークの様子 ↓

新型コロナの影響により開催が 9 月から年末へと変更となっ
てしまいましたが大勢の参加者にお集まりいただくことができました。
グループワークは異なる立場の者の意見交換を目的として「地域学校協働活動推進員」・「院生」・「一般参加の
教員」「教育委員会関係」をそれぞれ配置し、これからの「学
校・家庭・地域」の持続可能な「よこのつながり」について協
議しました。



講師の木村先生と参加者の皆様